

MERIDIAN

第70回有瀬図書館ギャラリー展

1964東京オリンピック

1964年東京オリンピック招致に至るまで



嘉納治五郎の尽力により、1936年(昭和11)IOCベルリン総会で1940年の第12回大会が東京で行われることが決定した。しかし、1937年(昭和12)日中戦争が起こり、国際的な緊張が高まっている中での開催に対して、国内外で反対運動が起こった。さらに嘉納氏の死去も合わさり、1938年(昭和13)7月15日に東京大会の返上が決定した。こうして、1940年第12回東京オリンピック大会は「幻の東京オリンピック」となった。

1959年(昭和34)ドイツのミュンヘンで行われたIOC総会で日本は再度オリンピック招致を目指し、開催地に立候補した。総会では、日本オリンピック委員会委員の平沢和重が、日本の小学校教科書には『五輪の旗』というエッセイが掲載されていることを紹介するなど、オリンピックが根強いものであるとの演説を行った。

他には、ブリュッセル、デトロイト、ウィーンが開催都市として立候補していたが、全56票のうち日本は34票獲得と大差をつけ、アジア初オリンピック大会開催を決めた。

開催場所:神戸学院大学有瀬図書館 本館2階エントランスコーナー

開催期間:2024年6月1日(土)~2024年8月22日(木)

*開催時間や開催期間は変更になることがあります。図書館HPにて、ご確認のうえご来館ください。

KANO JIGORO
嘉納 治五郎 [1860-1938]

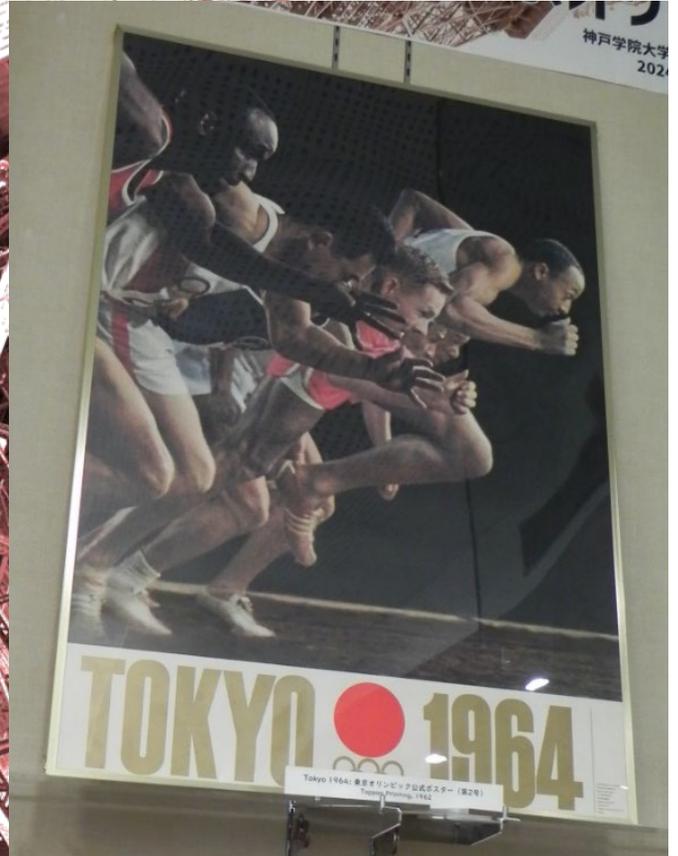
現神戸市東灘区御影町出身。柔道を通じた熱心な活動の結果、1909(明治42)年にアジア初の国際オリンピック委員会(IOC)委員に就任。

晩年はオリンピック東京招致を目指し世界中を奔走し、1936(昭和11)年IOCベルリン総会でついに、第12回大会の東京招致に成功した。翌年に日中戦争が起こり、国際関係に緊張が走るも、1938(昭和13)年IOCカイロ総会にも出席し、アジア初の冬季大会札幌招致に成功した。

しかし、カイロからの帰途の船中で肺炎を起こし死去した。嘉納氏の死をきっかけに、そのわずか2か月後、この2つの大会を返上することとなった。



Tokyo 1964: 東京オリンピック公式ポスター(第1号)
Toppan Printing, 1961



Tokyo 1964: 東京オリンピック公式ポスター(第2号)
Toppan Printing, 1962

KAMEKURA YUSAKU
亀倉 雄策 [1915-1997]

1964(昭和39)年、東京オリンピックのポスターを制作したグラフィックデザイナー。

1938(昭和13)年、英独仏西4か国語併記のグラフ誌『NIPPON』のアート・ディレクターを務めた。その後、日本のデザイン界の第一線で指導的な役割を果たし、1980(昭和55)年に紫綬褒章を受賞。1991(平成3)年には文化功労者に選ばれる。

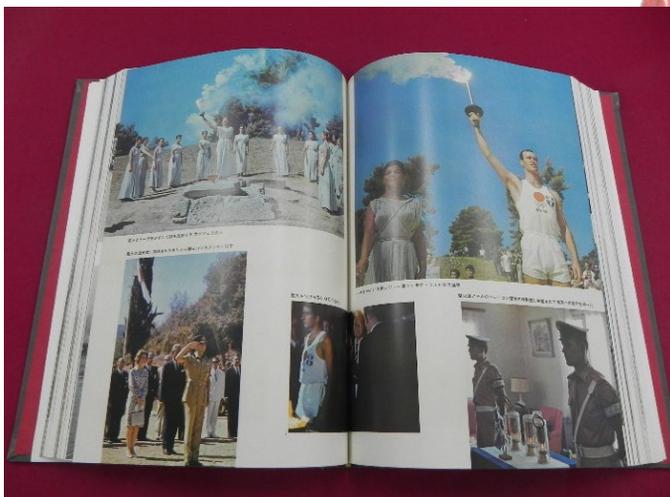
東京オリンピックのポスターのほかに、1970(昭和45)年札幌冬季オリンピックポスターや、1967(昭和42)年大阪万国博覧会ポスターも手掛けた。

聖火

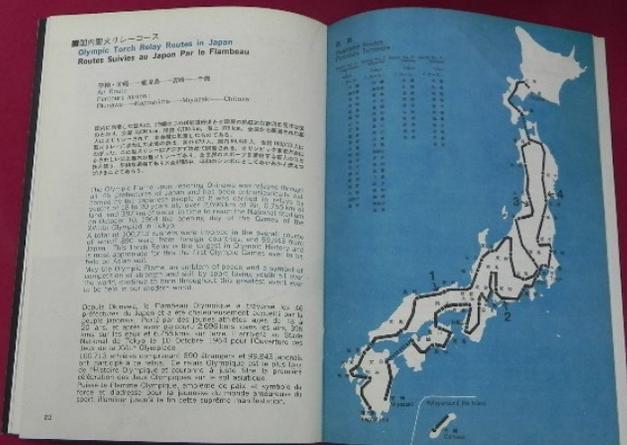
オリンピック大会開催期間中、主競技場の聖火台で灯されるオリンピックの象徴。現在のオリンピックの起源である古代ギリシャで行われていた「古代オリンピック」の頃から灯されていた。

聖火リレーは、1936年(昭和11)第11回ベルリン大会から始まり、当時はギリシャのオリンピア遺跡のヘラ神殿で太陽光から採取した火を、陸路でベルリンまで運んだ。その後の大会では、空輸や人口衛星を通した宇宙リレー、水中リレーも行われた。

1964(昭和39)年第18回東京大会では、アテネ(ギリシャ)からイスタンブール(トルコ)に運んだあと、アジア各国をリレーした後沖縄に入り、日本全国4コースに分かれてリレーを行った。



第18回オリンピック競技大会公式報告書(上)
オリンピック東京大会組織委員会, 1966



開会式：公式プログラム
オリンピック東京大会組織委員会, 1964.

獲得メダル数

競技	合計
1 体操	16
レスリング	
ボクシング	
ウエイトリフティング	
バレーボール	
柔道	

女子バレーボール日本代表チームは「東洋の魔女」と呼ばれ、ソ連(現ロシア)チームを破り優勝した

競技	合計
2 体操	5
柔道	

競技	合計
3 陸上競技	8
水泳	
体操	
レスリング	
ウエイトリフティング	
射撃	
バレーボール	

展示の様子



編集後記

第70回ギャラリー展では「1964・東京オリンピック」と題し、1964年東京オリンピック大会で使用されたデザインのポスターなどを展示しています。

一度は時代の流れに抗えず、幻に消えた東京大会でしたが、日本オリンピック委員会の尽力により、再び招致に成功し、アジア初のオリンピック大会開催となりました。

東京都内の会場を中心に20競技163種目が実施され、日本は金メダル16個含む29個ものメダルを獲得しました。

普段は閉架資料として、閲覧が制限されている貴重な資料ばかりです。また今年7月にはパリオリンピックが開催されます。ぜひ、この機会にお楽しみください。

参考文献

- 日本大百科全書(ニッポニカ) 日本国語大辞典 デジタル大辞泉
笹川スポーツ財団HP【オリンピックを知る】「嘉納治五郎と日本のオリンピックムーブメント」
(<https://www.ssf.or.jp/knowledge/history/olympic/03.html>)
国立公文書館アジア歴史資料センター「東京オリンピック、1940年～幻のオリンピックへ～」
(<https://www.jacar.go.jp/seikatsu-bunka/p06.html>)
読売新聞HP「1964東京五輪の記憶」(<https://www.yomiuri.co.jp/special/olympic/#openingPage>)
柔道チャンネル「『柔道の父』嘉納治五郎」(https://www.judo-ch.jp/knowledge/kanou_life/)
笹川スポーツ財団HP【オリンピックを知る】「嘉納治五郎と日本のオリンピックムーブメント」
(<https://www.ssf.or.jp/knowledge/history/olympic/03.html>)
東洋経済ONLINE「意外と知らない「オリンピック聖火」の長い歴史」赤坂厚, 2020.2.11
(<https://toyokeizai.net/articles/-/329420>)

神戸学院大学図書館展示会通信 Meridian第70号

2024年6月7日発行

発行・編集: 神戸学院大学 有瀬図書館

〒651-2180 神戸市西区伊川谷町有瀬518

Tel: 078(974)4584 E-mail: pub-lib@j.kobegakuin.ac.jp

ホームページURL: <http://opac.kobegakuin.ac.jp/>

1964 TOKYO